



## 観察記録・説明等

【2016. 5. 21】

・昨年の10月27日にイタドリが繁茂する堤防法面の表層を5cm程度を剥ぎ、新しい土を補充し整形してから野芝を張った箇所が、現在では左の写真(2016年5月21日撮影)のようになっています。

・在来法面のイタドリの草高は156cmに伸びていますが、芝の下にジオネット(1.2mm×1.2mm)を敷いたエリアでは、草高2~6cmのイタドリが10本のみが発芽にとどまっていて、ジオネットによるイタドリの抑制効果が明確になりました。この実験場の近くでは1.5mmのジオネットでも実験していますが、発芽密度は10倍ほど違いました。わずか0.3mmの違いでこれほどの違いが出たことに驚いています。理想の目合いに近づいたのかもしれませんが。

・しかし、施工時期が悪いのか、ジオネットの影響なのか芝が枯死したので、近々、芝の張り替えをしてジオネットが芝の成育に支障があるのかを検証する予定です。

・なお、ジオネットはスギナの成長も抑制できているようで、草丈が半分以下になっていました。

・下の写真は昨秋、堤防の表土を剥ぎ新しい土を5cm程補充して整形した状態のものですが、密生するイタドリの地下茎の配置がわかりやすいように白く塗ってあります。

